

○ 市政報告等		
(1) 市長からの市政報告		
・まちづくりの転換期 ・全国屈指の森林観光都市 ・令和7年度予算規模について ・市制施行70周年記念事業 ・令和7年度の主な取組み 1-1 健康で安心して暮らせるプロジェクト ～ネイチャーポジティブ宣言～ 1-2 健康で安心して暮らせるプロジェクト ～プラスチック一括回収の毎週収集化～ 3-1 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～OMOTANコイン～ 3-2 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～多世代交流施設の整備～ 3-3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～はだのスポーツビレッジ～ 4-1 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト ～土地区画整理事業など～ 4-2 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト ～羽根森林資源活用拠点(仮称)の整備～ 5 横断プロジェクト「移住・定住活性化プロジェクト」 ～はだのOMOTANライフ応援事業～ ※その他の事業は、資料を別添。		市長
(2) 総合計画後期基本計画素案(基本計画及び地域まちづくり計画)の説明		
・計画の期間と構成 ・PDCAサイクルによる計画のマネジメント ・リーディングプロジェクト ・施策大綱別計画(概要) 第1編 誰もが健康で共に支えあうまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第2編 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第3編 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第4編 住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第5編 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり ・地域まちづくり計画 ・【地区】地域まちづくり計画 ・今後のスケジュール ・社会潮流と基本的な策定の視点 ・計画の基礎指標 ・施策大綱別(分野別)計画の体系		総合政策課長

○ 意見交換

(1) 地区からのテーマに基づく市政報告

【市からの状況説明】

○コミュニティタクシーのルート変更について

- ・現状の運行ルートは、「渋沢駅から赤十字病院」間を走る片道5.5kmのルートで、1日合計19便運行されている。そのうち、4便については、千村方面にも循環しており、千村方面を循環した場合の赤十字病院までの片道は9.4kmになる。
- ・運行の方法は、路線バス同様、路線固定型運行にて、決まった路線を決まった時刻で運行しており、朝7時台から夕方5時台、月曜日から金曜日の平日のみを運行している。
- ・9人乗りのワゴン車を使用し、運賃は区間により200円、250円、300円となっているが、小学生以下は子供料金として一律100円となっている。6歳未満は無料。
- ・昨年6月に地元自治会の会長に参加していただき、地域懇談会を開催した。人件費の高騰から路線の収支状況が年々悪化しており、交通事業者と市の負担が増えている状況で、このまま存続することが難しくなる可能性がことから、地域の皆様に利用してもらうにはどうしたらいいのかを検討するために行った。
- ・アンケート調査の中では、停留所を設置してほしいという意見が一番多くあった。現在、このアンケート調査結果を基に、今後どのように継続していくかを、地域の皆様、交通事業者、秦野市の三者により、取組を進めたい。
- ・ルートの変更については、西から東にかけて長いルートであり、関係する地域が多くあるため、多くの意見を反映することは難しいが、今年度のアンケート調査結果に基づき、日常生活における移動手段の確保が継続してできるよう、今回の提案も参考とさせていただき、検討していきたい。
- ・アンケート調査によると、コミュニティタクシーを日常的に利用すると回答いただいた方は、5,334全中249人で約5%の状況。また、コミュニティタクシーを知らなかったという方が多く見られたため、今後の対策として周知強化に努めるとともに、利用についても呼びかけたい。コミュニティタクシーを持続可能なものとするため、今年度中に協議会を立ち上げ、地域の皆様、交通事業者、秦野市の三者により協議を行っていききたい。

都市部長

コミュニティタクシーのルート変更について



(質問) ・現在の乗車率は、どのくらいか。	自治会
(回答) ・昨年度の数字では、平均3人くらいの乗車率となっている。	都市部長
(質問) ・ライドシェアは、検討しているか。	自治会
(回答) ・他県の協議を見ると、利用の多い都市部を中心に検討が進められているが、現時点では状況を注視している。	都市部長
(質問) ・ルートを変更した後の乗車率の予測はどのようなか。 ・市としては、路線を廃止したい考えか。	波多川自治会
(回答) ・路線数や停留所を増やすことで、乗車率を上げることは、現時点では難しいと考えているため、予測はしていない。 ・地域の皆さんと相談させていただきながら、効率的なルート設定を行い、地域の方々に乗り支えていただき、存続させていきたい。	都市部長
(要望) ・渋沢下自治会と渋沢上自治会の間に停留所の空白地域があるため、市道16号線を通る今回提案のルートに変更したい。	渋沢下自治会
(回答) ・今後の協議となるが、交通量や歩道の有無なども含めて検討していきたい。	都市部長

(2) 市政全般(市政報告及び総合計画後期基本計画素案含む)	
(意見・要望) ・定住者を増やす取組みが必要。 ・民生委員児童委員など、若返りが必要。 ・新東名高速道路の開通は、上地区・西地区にとって千載一遇のチャンスであるため、開発計画等を積極的に進めてほしい。また、日産車体(平塚市)の閉鎖を受け、秦野の事業所のあり方も含めて、検討してほしい。	渋沢民児協
(回答) ・昭和24年には270万人あった出生率は、現在70万人まで減ってきている。秦野市は、この4年間社会像が続いている。要因としては、就職で一度秦野市を出た方々が、30代・40代になり、秦野市に戻ってきてくれている状況がある。 ・秦野丹沢サービスエリアの関連ですが、戸川区画整理事業を実施しており、令和10年10月の完成を予定しているが、スマートインターからつながる菩提横野線の整備を進めている。この区画整理事業で、産業系企業の誘致を検討していく。中日本と協議し、直売所の設置や、地元の方が立ち寄れる駐車場の整備などを要望している。 ・日産の秦野事業所も100人を超える従業員がいて伺っているので、状況を注視して、できる範囲の支援は検討したい。	市長
(意見・要望) ・6分団第5部の消防団倉庫の新築工事について、6月23日に説明会が開催されたが、これまで相談がなかった。新しく更新するのであれば、女性消防団に配慮した更新となるよう検討してもらいたい。	渋沢自治会連合会
(回答) ・車庫待機室の設計は、平成31年度に車庫待機室建設時に消防団員の意見等を聴取し、現在の形の車庫待機室を基本的な設計として、これまで、市内に7か所、同様の建物を建設している。当時の意見では、待機スペースの充実・強化として、休憩スペースの拡張化、エアコンの設置、女性消防団員への配慮として鍵のかかる更衣室の設置、トイレを2か所設置、といった要望を受け、これらを反映した建物を基本としている。6分団第5部の消防団倉庫も同様の仕様としている。今回要望いただいた洗面台について、設置の方向で進めさせていただいている。今回、事前の説明が不十分であったことから、今後は建て替えとなる車庫については、事前の説明会をしっかりと実施していく。	消防長
(質問) ・自主防災会の防災倉庫の使用許可などについて、どこまで自治会がやるのか。	渋沢上窪自治会
(回答) ・消防団との関係もあることから、消防及び防災課に確認させていただきたい。	くらし安心部長
(意見) ・3月・6月に議会の一般質問を傍聴した。実際に現場でのやり取りを聞くと、がよく理解できるため、1年に1度くらい傍聴席に足を運ぶとよい。	渋沢新光団地自治会

(要望) 堀川小学校前の道路について、一部補修は何度か行っていたが、全面舗装をお願いしたい。	学校前第6自治会
(回答) 堀川小学校前は通学路で、片側が歩道で横断歩道もある。これまで部分的な補修をしているのは、横断歩道の前後で、数年間、応急処置の対応で我慢をしていただいているのも承知している。生活道路の中では優先順位は高い道路であると感じているため、予算化して、順次対応させていただきたい。	建設部長
(意見・要望) - 頭高山への道中に、トイレを設置してほしい。 - はだののおいしい水の製造が埼玉県で、原材料が水道水と書いてあるため、修正してほしい。	千村第1自治会
(回答) - 東の弘法山、西の頭高山。地元の方も集客の貢献をいただいているが、弘法山の半分くらいの集客ができるよう、検討していきたい。 - 頭高山は、昨年植樹祭なども行い、少しずつ集客も図れていると感じている。トイレは、設置場所などについても検討していきたい。 - はだののおいしい水に関しては、法律上、水道水のカテゴリとなるため、その表記となっている。	市長 環境産業部長
(意見・要望) 柳町公園のブランコが、高いところで巻き付けられ、使えないようになったまま1年ほど経過する。	曲松第4自治会
(意見・要望) - 自治会内に公園が3つあるが、遊具が使えない状況になっている。ベンチの塗装も剥げている。公園課も来てくれたが、自治会内に塗装のプロがいて、自治会でできることをやろうと塗装を行った。できることは自分たちで行うので、遊具の点検を優先してくれと依頼した。 - 公園の管理を地元の自分たちの力でやってもらうような呼びかけは、していないか。	新渋沢自治会

(回答) ・年に1回法定点検を行っている。点検結果で、危険性がある場合は、使用を中止せざるを得ない状況となる。次年度の予算措置が取れない状況だと、すぐに遊具の更新ができない状況もあることをお詫びする。状況を確認したいので、どの公園か教えてほしい。 ・地元の力での対応については、里親制度のような取組みがある。公園や道路の美化などに対して、草花の種の提供や除草作業に係る道具の貸し出しなどを行っている。ベンチであれば、ペンキやはけの提供などができると思うので、持ち帰って前向きに検討したい。	建設部長
(質問) ・年1回の法定点検やった後の修理について、予算の取り方がおかしいと感じる。一定の額を予算化しておくことはできないのか。	堀川民児協
(回答) ・一定額の予算措置は、行っている。その見込みを超えるものについて、当該年度の対応ができないということ。	建設部長
(回答) ・200を超える公園がある中、市で管理を行っているが、日常的な管理は、公園アダプト制度で行っていただけたら非常にありがたい。 ・遊具が1年以上使えない状況であることは、そういったことがないよう対応したい。 ・安全で安心して使用していただけるよう対応していく。	市長
(質問) ・ペコちゃん公園の遊具が、熱くなるが、対策はあるか。	波多川自治会
(回答) ・ペコちゃん公園に限らず、鉄製の遊具は熱を持ってしまう。耐熱性のペンキなどもあると聞いているが、根本的な解決にはならないため、使用を控えたり、使用時間を変更するなどの対応をお願いしたい。	建設部長
(質問・意見) ・西中学校前の陸橋について、建て替えや横断歩道の設置などの計画はないか。 ・頭高山を観光ルートとして、四十八瀬から戸川公園へのルートにしてはどうか。	沼代第6自治会
(回答) ・陸橋については、管理は国になる。道路施設は5年に1度の点検する必要があるが、古くは見えるが、機能上は安全な状態であると認識している。横断歩道は、以前あったものがなくなったと認識している。これらは、国の道路管理者が警察に協議を行って決定していく流れとなる。	建設部長
(回答) ・陸橋の件について、過去は横断歩道があったが、なくなったと認識している。持ち帰って経過を調べます。 ・頭高山の神山の滝の方向への矢倉沢往還ルートが、観光ルートになっていると認識している。提案のルートは、良いコースになりそうなので、観光担当にも提案してみる。	市長

	(質問) ・カーボンニュートラルの取組みは、どのような。	自治会
	(回答) ・身の回りでできる二酸化炭素排出を抑制していくことが、主な取組みとなる。産業部門、民生部門、廃棄物部門、運輸部門などに分類して、それぞれの取組みを行い、二酸化炭素の排出抑制に取り組んでいる。本市は、52%の森林もあり、吸収部門も併せて計算している。こうした身近な行動の積み重ねにより、ゼロカーボンに取り組んでいく。	環境産業部長